

⑥大原不動尊 (豊町5丁目) 爆弾を避けた運がいいお不動様

大原交番のところに爆弾が落ちた。(1944年11月24日)そこにいた人が何人か亡くなったり、怪我をしたり。ただ大原交番の向きが西向きだったんです。今の豊町5丁目にお不動様があって、お不動様のところに交番があった。爆弾が落ちた時にそこを避けた、すごく運の強いお不動様、難避けのお不動様ということでみんなお参りした。音は家にいたんですけど聞きましたよ、ズドンって、覚えてましたよ。(斎藤稔夫さんの証言より)

今も、難避けの不動様としてお札がたくさんかかっていた。



⑦ 焼けたところ 大原小学校 (5月24日の空襲で焼失)

焼けなかったところ金子園・木内医院・大原不動尊

大原国民学校は焼けてしまったが、裏は焼けなかった。原交番のところに爆弾が落ちたが、交番から先は燃えていない。金子園というお茶屋さん焼け残った。建て替えられたが、今でも店は残っている。焼け野原の中に木内医院だけぽつんと残っていた。



⑧ 蛇窪神社/上神明天祖神社

空襲で焼けなかった大鳥居

上神明国民学校の隣にある上神明天祖神社は旧上蛇窪村の鎮守で、シンメイサマと呼ばれて親しまれていた。空襲で、本殿、隣の上神明国民学校は焼けたが、大鳥居だけは焼けなかった。ご神体は、神主さんがリュックサックに入れて逃げ、無事だったという。

無事だった近所の人は、戦後復興のシンボルとして大鳥居を眺め、大鳥居を見るとホッとしたという証言もある。

写真の鳥居は昭和49年に同で修復された。大鳥居のわきの表示には「焼け残った」ことが書かれている。蛇窪村の鎮守だったということで、今は「蛇窪神社」を掲げている。



大鳥居の由来の表示  
焼け残ったことが書かれている。他のところにも表示がこれ欲しい。